

平成29年度 総合科学コース2年生 特別講義 「水と高分子」

兵庫県立大学 大学院工学研究科 准教授 遊佐 真一 先生

7月18日（火）10：45～12：35

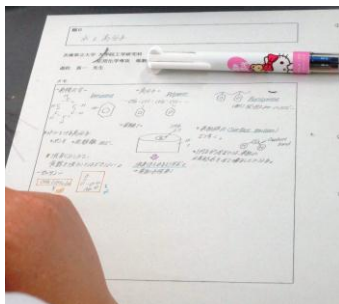
今回は、日常生活に密接に関係している高分子について講義を受けました。1円玉が水に浮くという現象を導入として、表面張力や界面活性剤、ミセルの形成について分かりやすく説明されました。講義の後半には生徒実験もあり、不思議な現象を体験しました。これは、ひも状のミセルの形成によるものであり、この分野は副作用の少ない抗ガン剤の研究にもつながっています。生徒は高分子の世界に引き込まれ、興味深く講義を聞いていました。

<生徒の感想>

- 高分子というのは初めて聞いたので、どんなものなのか予想もつかなかったけれど、意外ととても身近なものなんだと分かりました。
- 高分子は、人間にとってとても大事な存在なんだと思いました。話も分かりやすく、丁寧で、とても聞きやすかったです。
- 化学は細胞膜など、生物に関わるものもたくさんあることを知り、化学に興味をもつことができました。
- ガンの副作用を小さくする方法の研究は実現してほしいです。
- 僕は兵庫県立大学の工学部を目指していて、学科は化学が活かせる、学べるところがいいと思っていたので、本当の化学を知ることができてとても楽しかったです。ただ、本当に難しいので、もっと勉強が必要だと痛感しました。
- 実験の時に、先生が一人ひとりの実験を見て回ったことで、より分かりやすかったです。



講義の説明には英語もたくさん使われました。



講義内容を分かりやすくまとめています。



実験結果に驚いています。